

設甲の1

設計書用紙

第 号

令和7年度

事業名

農村地域防災減災事業

舟見地区転落防止柵設置工事 請負 設計書

課長

係長

設計

精算(副主務)

農村地域防災減災事業

舟見地区転落防止柵設置工事 特別仕様書

第1章 総 則

この特別仕様書は、富山県農林水産部制定「土木工事等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）第1-1条第2項の規定により、当該工事に必要な事項を定めるものとする。

第2章 工事内容

1. 目 的 この工事は、舟見地区において農村地域防災減災事業の一環として行う転落防止柵設置工事である。
2. 工事場所 富山県下新川郡入善町 舟見 地内
3. 工事概要 この工事の概要は次のとおりである。

施工延長	L = 6 1 . 0 0 m
安全施設工	1 式
その他	1 式

第3章 施工計画等

1. 契約締結後、速やかに共通仕様書第1-5条の規定による施工計画書を提出し、監督員の承諾を得なければならない。
2. 段階確認、中間検査については「農林水産部土木工事施工管理基準」を参考に、
 - ①請負者が自主的に管理する事項
 - ②監督員が確認を申し出る事項
 - ③中間検査を申し出る事項の別を施工計画書に時系列で記載することとする。

第4章 安全管理

工事期間中は、安全管理要員等を配置し、工事区域内全般の巡視・点検・連絡調整等を行い安全確保に努めなくてはならない。

第5章 安全教育・訓練の実施

1. 労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、「安全教育・訓練等の実施要領」により月当たり半日以上の頻度で実施するものとする。
2. 実施項目について、共通仕様書第1-5条施工計画書の記載事項として「(4)安全管理」に含め、「安全教育・訓練等の実施要領」の様式-1により工事の内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。
3. 安全・訓練等の実施については、「安全教育・訓練等の実施要領」の様式-2により安全教育・訓練等の実施毎に記録写真等を撮影し、監督員及び検査員の請求が合った場合は直ちに提示しなければならない。

第6章 現場条件

本工事の施工については、通常の施工法によるものとするが、万一公害が生じ、または生じる恐れがある場合は、監督員と協議するものとする。

第7章 工事用地等

1. 発注者が確保している工事用地等については、工事施工に先立ち監督員立会いの上、用地境界使用条件等の確認を行わなければならない。
2. 用地の返還に当たっては、請負者は使用条件に基づき必要な措置を講じた後、発注者に通知しその確認を受けなければならない。

第8章 使用願いの提出

工事材料は、使用前に見本、カタログ、試験成績書等を監督員に提出し、承諾を受けなければならない。

第9章 地場産品の優先使用

この工事に使用する工事材料等は、品質が所定の水準以上であり、かつ、価格が適正である場合は、県内地場産品を優先使用するものとする。

第10章 アスファルト混合物

1. 請負者は、本工事のアスファルト混合物は再生材入りアスファルト混合物を使用するものとする。
2. 請負者は、上記により難しいときは監督員と協議して再生材の混入しないアスファルト混合物（バージン材）を使用してもよい。

第11章 鉄筋コンクリート用棒鋼

1. JIS製品を使用する場合、一径棒鋼使用量が5 t以上の場合は、ミルシートによる品質の確認のほか、信頼できる試験機関が実施した引張試験及び曲げ試験により再確認しなければならない。なお、5 t未満の場合は、原則としてミルシートによる確認のみとする。
2. JIS製品以外のもを使用する場合、ミルシートによる監督員の事前審査が必要のほか「JIS製品と同等以上の品質を有するもの」の保証として、信頼できる試験機関が実施した引張試験及び曲げ試験により確認しなければならない。なお、この試験成績書が添付されていない製品を使用する場合は、信頼できる試験機関に引張試験及び曲げ試験を依頼し、JIS製品と同等以上の品質を有することを確認のうえ使用しなければならない。

第12章 コンクリート配合

使用目的別の配合諸元は次表のとおりとする

番号	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	W/C (%)	C (kg/m ³)	セメントの 種類	使用目的
1	18	8	40	60		BB	Co連続基礎構造物
2	18	8	25	65		BB	均しコンクリート
3							

第13章 生コンクリートの水セメント比

コンクリートの水セメント比は、第12章 コンクリート配合を遵守すること。指定した呼び強度に対して水セメント比が確保できない場合は、上位規格を用いるものとする。

第14章 施工

1. 水準点は、平面図に示すBMを使用しなければならない。
なお、使用にあたっては共通仕様書第1-38条の規定により必要な対策を行うものとする。
2. 検測又は確認
次の工種について、監督員の検測、確認を受けなければならない。

工 種	作 業 段 階	備 考
その他不可視部	埋戻し等の前	適時

3. 立会い
次の工種については、監督員の立会いを受けなければならない。

丁張工等	施工前及び設計図書と疑義が生じた場合

第15章 施工管理

1. 主任技術者 この工事の主任技術者または管理技術者は1級もしくは2級建設機械施工、1級もしくは2級土木施工管理技士、または技術士に合格したものとする。
2. 管理基準 富山県農林水産部土木工事施工管理基準によるものとする。

第16章 工事周辺地域住民への協力

工事施工に際し、周辺地域住民の通行、農作業に対して十分な協力を行うものとし、トラブルの生じないようにすること。

第17章 下請関係の適正化

この工事を下請に付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項」を遵守すること。

第18章 産業廃棄物の適正処分

本工事から発生する産業廃棄物の処分は、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理しなければならない。

第19章 施工機械

1. 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械使用要領に基づき国土交通省（旧建設省）で指定された建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械に代えて、国土交通省で認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型と同等にみなすものとする。

機 種	備 考
<ul style="list-style-type: none">● バックホウ● トラクタショベル（車輪式）● ブルドーザー● 発動発電機（可搬式）● 空気圧縮機（可搬式）● 油圧ユニット類 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの。 ：油圧ハンマ・パイプロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機・油圧式杭圧入引抜機・アースオーガ・オールケーシング掘削機・リバースサーキュレーションドリル・アースドリル・地下連続壁施工機・全回転型オールケーシング掘削機● ローラ類 〔ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ〕● ラフテレーンクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5KW以上260KW以下）を搭載した建設機械を対象とする。

2. 排出ガス対策型建設機械を使用する場合は、施工計画書（共通仕様書1-1-5施工計画書(5)指定機械）の中で、①機種、②メーカー名、③型式、④台数等を記載するものとする。

また、「指定ラベル」が確認出来る工事写真を提出するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械を使用しない場合は、設計変更の対象とする。ただし、機械損料に差額のない機種についてはこの限りでない。

第20章 建設発生土

本工事から発生する残土及び表土残土については指定処分とし、運搬場所については監督員と協議すること。

第21章 建設リサイクル法の対象建設工事

1. 本工事は、建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律（以下建設リサイクル法という）の対象建設工事であり、特定建設資材について分別解体等及び再資源化等を実施するものとする。

2. 請負者は、建設リサイクル法第12条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員へ説明するものとする。

- ・解体工事である場合は、解体する建築物等の構造
- ・新築工事等である場合は、使用する特定建設資材の種類
- ・工事着手の時期及び工程の概要
- ・分別解体等の計画
- ・解体工事である場合は、解体する建築物等に用いられた建設資材の量の見込み

3. 本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

(1) 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	(1) 仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	(2) 土工	土工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	(3) 基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	(4) 本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	(5) 本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	(6) その他 ()	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

(2) 再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び再資源化施設の場所

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化施設の場所	運搬距離
アスファルト塊	黒部市 若栗	6.5km
コンクリート塊	黒部市 若栗	6.5km
建設発生木材		

※上記(2)については積算上の明示条件であり、再資源化施設を指定するものではない。
 なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
 ただし、施設の受入が困難な場合等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

- 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン（富山県土木部）（平成14年6月）に定めた様式1 [再生資源利用計画書（実施書）]及び様式2 [再生資源利用促進計画書（実施書）]を兼ねるものとする。
 - 再資源化が完了した年月日
 - 再資源化をした施設の名称及び所在地
 - 再資源化に要した費用
- 請負者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト等）を監督員に提示するとともに、運搬、処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書を監督員に提示するものとする。

第22章 再生材の利用（基礎砕石及び裏込材等）

次表の基礎砕石及び裏込材には再生砕石を使用するものとする。品質については、「コンクリート副産物の再利用に関する用途別暫定品質基準（案）」に基づくものとする。

なお、再生砕石の入手が困難な場合は、監督員と協議のうえ砕石（新材）に変更できるものとする。

工種	品質	使用箇所

第23章 再生材の利用（下層路盤材）

下層路盤材には再生砕石を使用するものとする。品質については、「コンクリート副産物の再利用に関する用途別暫定品質基準（案）」に基づくものとする。ただし、修正CBRは30%以上とする。

なお、再生砕石の入手が困難な場合は、監督員と協議のうえ、新材に変更できるものとする。

第24条 工事書類の簡素化の試行について

- 本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。
- 試行は、工事書類の簡素化試行要領（案）（令和7年4月富山県農林水産部）に基づき、実施するものとする。
- これらに定められていない場合は監督員と協議するものとする。

第24章 週休2日工事（発注者指定型）

1. 本工事は、週休2日工事であり、週休2日に取り組むこととする。
2. 工事の実施にあたっては、富山県『富山県農林水産部所管建設工事に係る「週休2日工事」試行要領』中「4-1【発注者指定型】」に準拠するものとする。ただし、「(4)工事成績評定」は適用しない。

第25条 1日未満で完了する作業に積算

- 1 「1日未満で完了する作業の積算」（以下、「1日未満積算基準」と言う。）は、変更積算のみに適応する。
- 2 受注者は、施工パッケージ型積算と実際の施工にかかった費用に乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について協議の発議を行うことができる。
- 3 同一作業員の作業が他工種の作業との組合せで1日以上作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- 4 受注者は、協議に当たって、1日未満積算基準に該当することを示す書面その他協議に必要となる根拠資料として日報（施工内容・施工数量・作業時間を記入したもの）と実際の費用がわかる資料等を監督員に提出すること。実際の費用がわかる資料（見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- 5 受注者の責によらず、交通等の制約により日々の作業量が制約される場合、別途考慮できるものとする。

第25章 その他

その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

農村地域防災減災事業
舟見地区転落防止柵設置工事

施工延長 L= 61.00 m

工種・種別・細別	規格	数量計算	単位	数量
道路改良工事				
構造物撤去工				
構造物取壊し工				
コンクリート構造物取壊し				
構造物とりこわし工	無筋構造物	数量計算書より 9.84	m3	9.8
舗装版取壊し				
舗装版切断	Co構造物 Co \leq 30cm	数量計算書より 61.00	m	61
舗装版切断	As \leq 15cm	数量計算書より 61.70	m	62
舗装版破碎	As \leq 15cm	数量計算書より 21.35	m2	21
殻運搬・処理				
殻運搬	Co(無筋) 黒部市若栗 L=6.5km	数量計算書より 9.84	m3	9.8
殻運搬	As 黒部市若栗 L=6.5km	数量計算書より 1.07	m3	1.1
舗装切断排水運搬費	Co(無筋) 富山市八尾町田中 L=57km	1.0	式	1
舗装切断排水運搬費	As 富山市八尾町田中 L=57km	1.0	式	1
処分費等				
コンクリート廃材処理費	(株)新興 無筋	数量計算書より 9.84	m3	9.8
アスファルト廃材処理費	(株)新興	数量計算書より 1.07	m3	1.1
Co舗装切断排水処理	橘開発(株)	数量計算書より 1.0	m3	1
As舗装切断排水処理	橘開発(株)	数量計算書より 0.10	m3	1
付帯施設工				
作業土工				
床掘り				
床掘り	小規模	数量計算書より 7.32	m3	7
土砂等運搬				
ダンプトラック運搬	小規模 舟見仮置場 L=1.0km	数量計算書より 7.32	m3	7
整地				
整地		数量計算書より 7.32	m3	7
安全施設工				
横断・転落防止柵				
転落防止柵設置工	Co建込 P3-1.1-2B	数量計算書より 60.00	m	60
防護柵基礎工	500*500 Co連続基礎	数量計算書より 61.00	m	61
付属物工				
視線誘導標				
視線誘導標設置工	撤去 コンクリート建込	図面より 2.00	本	2
視線誘導標設置工	設置 線形視線誘導標	図面より 1.00	本	1

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 適用単価 適用単価地区 単価適用年月日 諸経費体系	0001 入善町役場 実施設計書 当初 0 1 実施単価 31 入善地区 0-07.07.15(0) 1 農地		
前払率 諸経費工種 電力区分(1) 電力区分(2) 豪雪地域補正 冬期労務補正 週休2日工事区分 施工地域区分 契約保証区分 消費税率(%)	当 世 代 40 22 道路改良工事 01 臨時低圧電力 10 他季1 01 補正なし 00 補正なし 12 月単位 12 補正無し 01 金銭的保証 10	前 世 代	

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						X1000	
道路改良工事						Y1122	
構造物撤去工						Y212209	
付帯施設工		1		式		Y212211	工種 第0001号表
直接工事費		1		式			工種 第0002号表
共通仮設費(積上げ分)							
共通仮設費(率分)				式			
共通仮設費計							
純工事費							

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場管理費							
工事原価				式			
一般管理費等							
工事価格				式			
消費税・地方 消費税相当額				式			
請負対象工事費							
工事価格計							
消費税・地方 消費税相当額				式			
請負対象工事費計							

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物取壊し工					Y31220901
コンクリート構造物取壊し					Y4122090101
構造物とりこわし工(機械) 無筋構造物	9.8	m ³			SHK090 0 A=1, B=1, C=1, D=1, F=2 施工 第0-0001号表
舗装版切断					Y4122090103
舗装版切断[Co] コンクリート舗装版	61	m			SP4028 0 A=2, C=2, E=1 施工 第0-0002号表
舗装版切断[As] アスファルト舗装版	62	m			SP4028 0 A=1, B=1, E=1 施工 第0-0003号表
舗装版破碎					Y4122090104
舗装版破碎[As] アスファルト舗装版 障害等 無し	21	m ²			SP4027 0 A=1, B=1, C=1, D=4, F=1, H=1 施工 第0-0004号表
殻運搬・処理					Y4122090107

工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
殻運搬[Co構造物][機械積込] コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込	9.8		m3						SP2081 0 A=1, B=1, C=1, D=20 施工 第0-0005号表	
殻運搬[舗装版][機械積込] 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下)	1.1		m3						SP2081 0 A=3, B=3, C=1, D=17 施工 第0-0006号表	
舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬	1			式					S0040 0 A=1, B=0.3, C=61, E=57, F=1 施工 第0-0007号表	
舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬	1			式					S0040 0 A=1, B=0.05, C=62, E=57, F=1 施工 第0-0008号表	
処分費等									#0046	
コンクリート廃材処理費	9.8		m3						TCM03 0	
アスファルト廃材処理費	1.1		m3						TAK03 0	
Co舗装切断排水	1		m3						TCC02 0	
As舗装切断排水	1		m3						TAC02 0	

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
単位当り	1	式			

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
作業土工					Y31221101
床掘り					Y4122110101
床掘工(小規模)					S2506 0
	7	m3			施工 第0-0009号表
土砂等運搬					Y4122110106
土砂等運搬[バックホ積込] 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)					SP2002 0 A=2, B=5, C=1, D=1, E=4
	7	m3			施工 第0-0010号表
整地					Y4122010108
整地[残土受入地] 残土受入れ地での処理					SP2003 0 A=1, D=1
	7	m3			施工 第0-0011号表
安全施設工					Y31221102
横断・転落防止柵					Y4122110217

工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
横断・転落防止柵設置工 市場単価方式 コンクリート建込 P3-1.1-2.0B(白色):土木5438	60		m						SSN31 0 A=2, B=5, C=3, E=2 施工 第0-0012号表	
防護柵基礎工 B500×H500	61		m						V0001 0 施工 第0-0013号表	
付属物工									Y31221109	
視線誘導標									Y4122110901	
視線誘導標設置工 撤去 コンクリート建込み用	2		本						SSN30 0 A=3, B=6, E=4, F=2 施工 第0-0018号表	
視線誘導標設置工 標準型 構造物取付用	1		本						SSN30 0 A=1, B=5, C=1, D=8, E=4, F=2, G=3 施工 第0-0019号表	
単位当り	1		式							

施工内訳表

SP4028

施工 第0-0002号表

[名称] 舗装版切断[Co]		[規格1] コンクリート舗装版		[規格2]		1	m	当り
機械構成比: 10.58%		労務構成比: 36.99%		材料構成比: 52.43%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 3,148
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
コンクリートカッター	バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深30cm級 ブレード径75cm	7.20%		コンクリートカッター			M2003	
その他(機械)				その他(機械)			EK009	
特殊作業員		12.66%		特殊作業員			R0001	
土木一般世話役		6.84%		土木一般世話役			R0047	
普通作業員		5.66%		普通作業員			R0002	
その他(労務)				その他(労務)			ER009	
コンクリートカッター用ブレード	φ 750mm (ダイヤモンド)	23.68%		コンクリートカッター (ブレード)	径30インチ		T5567	
コンクリートカッター用ブレード	φ 560mm (ダイヤモンド)	16.23%		コンクリートカッター (ブレード)	径22インチ		T5565	
コンクリートカッター用ブレード	φ 350mm (ダイヤモンド)	9.93%		コンクリートカッター (ブレード)	径14インチ		T5585	
ガソリン	レギュラー	1.76%		ガソリン	レギュラー スタンド		T5101	
その他(材料)				その他(材料)			EZ009	

施工内訳表

SP4028

施工 第0-0003号表

[名称] 舗装版切断[As]		[規格1] アスファルト舗装版		[規格2]		1	m	当り
機械構成比: 15.42%		労務構成比: 57.13%		材料構成比: 27.45%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 673.26
代表機	材規格	構成比	単価	代表機	材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
コンクリートカッター	バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級 ブレード径56cm	10.49%		コンクリートカッター			M2001	
その他(機械)				その他(機械)			EK009	
特殊作業員		19.60%		特殊作業員			R0001	
土木一般世話役		10.55%		土木一般世話役			R0047	
普通作業員		8.73%		普通作業員			R0002	
その他(労務)				その他(労務)			ER009	
コンクリートカッター用ブレード	φ 450mm (ダイヤ)	23.29%		コンクリートカッター (ブレード)	径18インチ		T5560	
ガソリン	レギュラー	2.83%		ガソリン	レギュラー スタンド		T5101	
その他(材料)				その他(材料)			EZ009	
積算単価				積算単価			EP001	
A=1	アスファルト舗装版			B=1	15cm以下			
E=1	全ての費用							

施工内訳表

SP4027

施工 第0-0004号表

[名称] 舗装版破碎[As]		[規格1] アスファルト舗装版		[規格2] 障害等 無し		1	m ²	当り
機械構成比: 13.49%		労務構成比: 80.49%		材料構成比: 6.02%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 207.06
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
	バックホウ賃料	13.49%			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型]山積0.45m3(平積0.35m3)			TVA97
	土木一般世話役	28.91%			土木一般世話役			R0047
	特殊運転手	27.69%			運転手(特殊)			R0010
	普通作業員	23.89%			普通作業員			R0002
	軽油 (パトロール給油)	6.02%			軽油 パトロール給油			T5106
	積算単価				積算単価			EP001
A=1	アスファルト舗装版			B=1	障害等 無し			
C=1	騒音振動対策 不要			D=4	15cm以下			
F=1	積込作業 有り			H=1	割引有り (バックホ 後方超小旋回 山0.45m3)			

施工内訳表

SP2081

施工 第0-0005号表

[名称] 殻運搬[Co構造物][機械積込]		[規格1] コンクリト(無筋)構造物とりこわし		[規格2] 機械積込		1	m3	当り
機械構成比: 41.69%		労務構成比: 43.88%		材料構成比: 14.43%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 1,480.7
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考			
ダンプトラック (オンロード・ディーゼル) 10 t 積級	41.69%		ダンプトラック		M0305			
一般運転手	43.88%		運転手 (一般)		R0011			
軽油 (パトロール給油)	14.43%		軽油 パトロール給油		T5106			
積算単価			積算単価		EP001			
A=1 C=1	コンクリト(無筋)構造物とりこわし DID区間 無し		B=1 D=20	機械積込 8.0km以下				

施工内訳表

SP2081

施工 第0-0006号表

[名称] 殻運搬[舗装版][機械積込]		[規格1] 舗装版破碎		[規格2] 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下)		1	m3	当り
機械構成比: 44.95%		労務構成比: 38.97%		材料構成比: 16.08%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 2,839.5
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
ダンプトラック	(オンロード・ディーゼル) 10t積級	44.95%		ダンプトラック			M0305	
一般運転手		38.97%		運転手(一般)			R0011	
軽油	(パトロール給油)	16.08%		軽油	パトロール給油		T5106	
積算単価				積算単価			EP001	
A=3	舗装版破碎			B=3	機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下)			
C=1	DID区間 無し			D=17	6.5km以下			

施工内訳表

[名称] 舗装切断排水運搬費		[規格1] 2tダンプトラック運搬		[規格2]		1	式	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
一般運転手		人			R0011			
軽油 (パトロール給油)		L			T5106			
ダンプトラック (オンロード・ディーゼル) 2t積級		供用日			M0301			
タイヤ損耗費及び修理費		供用日			M9990			
単位当り	1	式						
A=1 当初 C=61 舗装版切断延長 1 (m) F=1 良好			B=0.3 E=57	アスファルト又はコンクリートの切断平均深さ t (m) 片道運搬距離 L (km)				

施工内訳表

[名称] 舗装切断排水運搬費				[規格2]		1	式	当り
[規格1] 2tダンプトラック運搬								
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
一般運転手		人			R0011			
軽油 (パトロール給油)		L			T5106			
ダンプトラック (オンロード・ディーゼル) 2t積級		供用日			M0301			
タイヤ損耗費及び修理費		供用日			M9990			
単位当り	1	式						
A=1 当初 C=62 舗装版切断延長 1 (m) F=1 良好			B=0.05 E=57	アスファルト又はコンクリートの切断平均深さ t (m) 片道運搬距離 L (km)				

施工内訳表

[名称] 床掘工 (小規模)		[規格1]		[規格2]		1	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
バックホウ (クローラ型) 後方超小旋回型 山積0.28m3 (平積0.2m3) 排出ガス対策型 (第2次基準値)		供用日			MHH130			
軽油 (パトロール給油)		L			T5106			
特殊運転手		人			R0010			
普通作業員		人			R0002			
m3当り		m3			+00			
単位当り	1	m3						

施工内訳表

SP2002

施工 第0-0010号表

[名称] 土砂等運搬[バックホリ積込]			1 m3 当り				
[規格1] 小規模			[規格2] 土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
機械構成比: 24.45%		労務構成比: 63.42%		材料構成比: 12.13%			
				市場単価構成比: 0.00%			
				標準単価: 883.23			
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック	(オンロード・ディーゼル) 4t積級	24.45%		ダンプトラック			M0302
一般運転手		63.42%		運転手(一般)			R0011
軽油	(パトロール給油)	12.13%		軽油	パトロール給油		T5106
積算単価				積算単価			EP001
A=2	小規模			B=5	バックホリ山積0.28m3(平積0.2m3)		
C=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)			D=1	DID区間 無し		
E=4	1.0km以下						

施工内訳表

SP2003

施工 第0-0011号表

[名称] 整地[残土受入地]		[規格1] 残土受入れ地での処理		[規格2]	
機械構成比: 23.13%		労務構成比: 51.64%		材料構成比: 25.23%	
				市場単価構成比: 0.00%	
代表機労材規格		構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
					標準単価: 123.38
バックホウ賃料		23.13%		バックホウ(クローラ型) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	TVA85
特殊運転手		51.64%		運転手(特殊)	R0010
軽油 (パトロール給油)		25.23%		軽油 パトロール給油	T5106
積算単価				積算単価	EP001
A=1	残土受入れ地での処理			D=1	割引有り(バックホウ山0.8m ³)

V0001

施工内訳表

施工 第0-0013号表

頁0-0022

[名称] 防護柵基礎工		[規格1] B500×H500		[規格2]		10	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
型枠[一般] 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	5.5	m ²			SP2084 A=1, B=1	施工	第0-0014号表	
コンクリート[人力打設] 無筋・鉄筋構造物 一般養生	2.5	m ³			SP2082 A=1, B=4, C=5, E=2, G=2, I=1	施工	第0-0015号表	
コンクリート[人力打設] 無筋・鉄筋構造物 一般養生	0.25	m ³			SP2082 A=1, B=4, C=15, E=2, G=2, I=1	施工	第0-0016号表	
目地板[瀝青繊維] 30m ² 未満 瀝青繊維質板 10mm	0.25	m ²			SP2076 A=1, B=3	施工	第0-0017号表	
合計	10	m						
単位当り	1	m						

施工内訳表

SP2084

施工 第0-0014号表

[名称] 型枠[一般]		[規格1] 一般型枠		[規格2] 鉄筋・無筋構造物		1	m ²	当り
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 100.00%		材料構成比: 0.00%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 9,352.2
代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考			
型枠工	46.19%		型わく工		R0021			
普通作業員	25.55%		普通作業員		R0002			
土木一般世話役	9.57%		土木一般世話役		R0047			
その他(労務)			その他(労務)		ER009			
積算単価			積算単価		EP001			
A=1 一般型枠			B=1 鉄筋・無筋構造物					

施工内訳表

SP2082

施工 第0-0015号表

[名称] コンクリート[人力打設]				1	m3	当り			
[規格1] 無筋・鉄筋構造物		[規格2] 一般養生							
機械構成比:	0.00%	労務構成比:	29.40%	材料構成比:	70.60%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	28,051
代表機労材規格		構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考		
普通作業員		13.20%		普通作業員			R0002		
特殊作業員		7.51%		特殊作業員			R0001		
土木一般世話役		6.69%		土木一般世話役			R0047		
その他(労務)				その他(労務)			ER009		
生コンクリート(高炉B) 18-8-40 (W/C=60%以下)		70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C=55%以下			T705830		
積算単価				積算単価			EP001		
A=1	無筋・鉄筋構造物			B=4	人力打設				
C=5	高炉 18-8-40 W/C 60%以下			E=2	一般養生				
G=2	現場内小運搬 無し			I=1	小型車運搬割増なし				

施工内訳表

SP2082

施工 第0-0016号表

[名称] コンクリート[人力打設]			1 m3 当り		
[規格1] 無筋・鉄筋構造物			[規格2] 一般養生		
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 29.40%		材料構成比: 70.60%	
				市場単価構成比: 0.00%	
				標準単価: 28,051	
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	13.20%		普通作業員		R0002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		R0001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		R0047
その他(労務)			その他(労務)		ER009
生コンクリート 18- 8-25 (W/C= 65%以下)	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C=55%以下		T7013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 無筋・鉄筋構造物			B=4 人力打設		
C=15 18- 8-25 W/C 65%以下			E=2 一般養生		
G=2 現場内小運搬 無し			I=1 小型車運搬割増なし		

施工内訳表

SP2076

施工 第0-0017号表

[名称] 目地板[瀝青纖維]		[規格1] 30m2未満		[規格2] 瀝青纖維質板 10mm		1	m ²	当り
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 63.93%		材料構成比: 36.07%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 3,855.3
代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考			
普通作業員	47.13%		普通作業員		R0002			
土木一般世話役	16.49%		土木一般世話役		R0047			
その他(労務)			その他(労務)		ER009			
目地板(瀝青纖維質板) 10mm	36.07%		瀝青纖維質目地板 厚さ10mm		T4792			
積算単価			積算単価		EP001			
A=1 30m2未満			B=3 瀝青纖維質板 10mm					

機 労 材 集 計 表

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 位	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	M0301	177			時間	ダンプトラック (オンロード・ディーゼル)	運搬機械損料
2	M0302	177			時間	ダンプトラック (オンロード・ディーゼル)	運搬機械損料
3	M0305	177			時間	ダンプトラック (オンロード・ディーゼル)	運搬機械損料
4	M2001	184			日	コンクリートカッタ	舗装機械損料
5	M2003	184			日	コンクリートカッタ	舗装機械損料
6	M9990	198			時間	タイヤ損耗費	機械損耗費
7	MHH130	176			時間	バックホウ (クローラ型) 後方超小旋回型	掘削積込機損料
8	R0001	150			人	特殊作業員	公共工事設計労務単価
9	R0002	150			人	普通作業員	公共工事設計労務単価
10	R0010	150			人	特殊運転手	公共工事設計労務単価
11	R0011	150			人	一般運転手	公共工事設計労務単価
12	R0021	150			人	型枠工	公共工事設計労務単価
13	R0047	150			人	土木一般世話役	公共工事設計労務単価
14	T4792	58	1.8605		m ²	目地板 (瀝青繊維質板)	目地材類
15	T5101	132			L	ガソリン	ガソリン
16	T5106	133			L	軽油	軽油
17	T5560	181	0		枚	コンクリートカッター用ブレード	路盤用機械損料
18	T5565	181	0.61		枚	コンクリートカッター用ブレード	路盤用機械損料
19	T5567	181	0.61		枚	コンクリートカッター用ブレード	路盤用機械損料
20	T5585	181	0.61		枚	コンクリートカッター用ブレード	路盤用機械損料
21	T7013	86	1.6318		m ³	生コンクリート	生コン18 W/C≤65%
22	T705830	85	16.3175		m ³	生コンクリート (高炉B)	生コン18 W/C≤60%
23	TAC02	113	1		m ³	As舗装切断排水	処理費
24	TAK03	114	1.1		m ³	アスファルト廃材処理費	アスファルト廃材処理費
25	TCC02	113	1		m ³	Co舗装切断排水	処理費
26	TCM03	115	9.8		m ³	コンクリート廃材処理費	コンクリート廃材処理費
27	TH417	200	60		m	柵設置工 コンクリート建込用	その他・市場単価等
28	TH726	200	1		本	視線誘導標 構造物取付 両面反射	その他・市場単価等
29	TH752	200	2		本	視線誘導標 撤去	その他・市場単価等
30	TL782	145	9.8		m ³	構造物とりこわし工 (無筋構造物)	標準単価
31	TR154	55	60		m	横断・転落防止柵	安全防護柵類
32	TVA85	199			日	バックホウ賃料	リース料
33	TVA97	199			日	バックホウ賃料	リース料

構造物撤去工

数量計算書

構造物取壊し工

1.0 式 当たり

名 称	規 格 ・ 算 式		数 量	単 位
コンクリート構造物取壊し Co構造物とりこわし (無筋)	図面より 視線誘導標分 2本 $V1 = (0.30 \times 0.30 \times 0.30) \times 3$	=	0.081	0.08 m3
	図面より 重力式擁壁分 $V2 = 0.16 \times 61.00$	=	9.760	
	合計 $V = 0.08 + 9.76$	=	9.840	9.84 m3
	Co切断 (無筋構造物)	図面より $L = 61.00$	=	61.000
As切断排水処分	$L = 61.00$ $t = 0.30$ $V = 0.023 \times 0.30 \times 61.00$ $W = 0.071 \times 1.3$	=	0.421	1.00 m3
		=	0.092	0.10 t
舗装版取壊し As舗装切断 t=10cm以下	図面より $L = 0.35 + 61.00 + 0.35$	=	61.700	61.70 m
As舗装取壊し	図面より $A = 0.35 \times 61.00$	=	21.350	21.35 m2
As廃材処分	図面より $V = 0.35 \times 61.00 \times 0.05$	=	1.068	1.07 m3
As切断排水処分	$L = 61.70$ $t = 0.050$ $V = 0.023 \times 0.050 \times 61.70$ $W = 0.071 \times 1.3$	=	0.071	0.10 m3
		=	0.092	0.10 t

付帯施設工

数量計算書

作業土工

1.0 式 当たり

名 称	規 格 ・ 算 式	数 量	単 位
作業土工 床掘り	図面より $V = 0.12 * 61.00$ = 7.320	7.32	m3
整地	$V = 7.320$ = 7.320	7.32	m3

付帯施設工

数量計算書

安全施設工

名 称	規 格・算 式	1.00m 当たり	
		数 量	単 位
横断・転落防止柵 転落防止柵設置工 コンクリート建込	図面より 転落防止柵(P3-1.1-2B) L= 60.00	= 60.000	60.00 m
防護柵基礎工 Co連続基礎	図面より L= 61.00	= 61.000	61.00 m

防護柵基礎工 単位数量計算書

防護柵基礎工

Co連続基礎 B500*H500

10.00m 当たり

名 称	規 格・算 式	数 量	単 位
防護柵基礎工 型枠	図面より A= 0.55*10.00	5.500	5.50 m2
コンクリート (18-8-40)	図面より V= 0.50*0.50*10.00	2.500	2.50 m3
均しコンクリート (18-8-25)	図面より V= 0.50*0.05*10.00	0.250	0.25 m3
目地板 瀝青繊維質板 t=10mm	A= 0.50*0.50	0.250	0.25 m2

転落防止柵 数量計算表

舟見地区

	設置			撤去			備考
	転落防止柵			延長 (m)	支柱個数 (本)	規格	
	延長 (m)	支柱個数 (本)	規格				
1	転落防止柵	60.0	31	Co建込			コンクリート連続基礎 6100*500*500
2							
3							
4							
5							
	合計	60.0	31				